

横浜国立大学  
陸上競技部報 10月号



2024年度幹部作成  
文責 遠藤

# 主要大会結果報告

## 日本学生陸上競技選手権大会





藤岡哲也(教職大学院修士課程 2年)

400mH 予選  
50"97 pB!!



宮田稜子(教育学部 2年)

走幅跳  
5m61(0.0)



釣本陽香(教育学部 1年)

走幅跳  
5m99(-1.6) 4位入賞!!  
三段跳  
11m92(-1.1)

9月19日から22日まで等々力陸上競技場にて行われた日本学生陸上競技選手権大会に弊部から藤岡、宮田、釣本の3名が出場しました。

誰もが夢見る学生陸上最高峰の舞台に国大のユニフォームを背負って戦う姿は圧巻の一言では収まりませんでした。

我々が思い描く強い横国の姿をその背中で魅せきった4日間。藤岡はここにきてPBを出す勝負男っぷりを発揮し、宮田は二回目の全カレで堂々と戦う姿が部員に力を与えました。釣本は優勝を狙った攻めの跳躍で国大に数年ぶりの得点を持ち帰りました。

3人の勇姿はチームに大きな結束力をもたらし、等々力の会場に響く国大の応援がこれまでにないほどに力強く、選手の背中を押していたのを見て、部活動としての陸上競技の本懐を垣間見たように感じる瞬間でした。

翌週はいよいよ27大本番、チームの士気は高まるばかり。各々の集大成に向けて全員が確実に一步を踏み出した大会となりました。

また、応援に駆けつけてくださったOB,OGの皆様、皆様のお力添えが大きな力となりました。この場をお借りして感謝申し上げます。

# 第 37 回 国公立 27 大学 対校陸上競技大会



男子対校総合 4 位  
トラック 4 位  
フィールド 5 位  
女子対校総合 3 位  
トラック 2 位  
フィールド 3 位

9月28日から30日にかけて笠松運動公園陸上競技場にて行われた国公立27大学対校陸上競技大会に出場致しました。この大会に向けて弊部は男子対校優勝、女子総合3位という対校戦目標を掲げて臨みました。

結果は男子対校総合4位、女子対校総合3位と、女子対校は関甲信に続いて対校目標を達成する素晴らしい戦績を残しました。また、教育学部4年の南が100mを大会新記録で優勝し、大会MVPを獲得する偉業を成し遂げました。男子対校も大学院生の大活躍のおかげも相まって総合4位という結果を残すに至りました。

全てを出し切る人ができた人、力及ばず悔しい思いをした人、それぞれがいるのが対校戦ですが、チーム国大として全てを出し切ることができたと胸を張って言うことができます。

それでも総合優勝には届かなかったことは確と受け止めるべきことではあります。がしかし、部員全員が声を枯らして応援し、選手の如く走り回ってサポートし、1分1秒1cm1mm瞬間に至る微小な時間さえ強い横国を目指して戦い抜いたことは間違いありません。

この道の先に強い横国があるのだと、一年間歩んできた道のを振り返って強く思うことができた対校戦でした。

大会の応援に駆けつけてくださった沢山のOB,OGの皆様方、本当にありがとうございました。

## 27 大個人結果報告

男子	100m	田畑 裕貴	M1	予選	1組2着	11"10	+1.1	
				準決勝	3組8着	11"11	+2.4	
男子	100m	上井 雄世	2	予選	3組3着	10"95	+1.1	
				準決勝	2組5着	11"00	+0.6	
男子	100m	山口 滉太	4	予選	4組3着	11"07	+1.9	
				準決勝	1組5着	11"04	+0.5	PB!!
男子	200m	上井 雄世	2	予選	1組2着	22"34	+2.6	
				準決勝	2組2着	21"77	+1.6	
				決勝	6着	21"70	+2.6	6位入賞
男子	200m	金指 翔	3	予選	5組3着	22"75	+2.2	
男子	200m	佐藤 駿介	M2	予選	7組2着	22"27	+1.0	
				準決勝	1組6着	21"91	+1.7	
男子	400m	佐藤 駿介	M2	予選	4組1着	50"51		
				準決勝	1組1着	49"06		
				決勝	3着	48"44		3位入賞
男子	400m	廣田 凌	2	予選	1組2着	53"31		
				準決勝	3組5着	51"48		
男子	400m	藤岡 哲也	M2	予選	5組1着	49"85		
				準決勝	2組3着	50"12		
				決勝	5着	49"84		5位入賞
男子	800m	廣田 凌	2	予選	4組2着	1'59"37		
				準決勝	3組1着	1'57"29		
				決勝	2着	1'54"84		2位入賞
男子	800m	石井 遙大	2	予選	3組2着	1'58"82		
				準決勝	1組3着	1'58"78		
男子	800m	鈴木 皐陽	3	予選	2組3着	2'00"79		
				準決勝	2組4着	2'01"39		
男子	1500m	吉澤 洋樹	3	予選	1組3着	4'03"94		
				決勝	10着	4'07"17		
男子	1500m	石井 遙大	2	予選	3組4着	4'04"25		
男子	1500m	曳地 謙人	4	予選	4組12着	4'18"00		
男子	5000m	砂川 遼太	3	決勝	2組17着	16'23"74		

男子	5000m	稲川 温健	2	決勝	1組 20着	15'45"61		
男子	5000m	遠藤 礼偉	3	決勝	1組	DNS		
男子	10000m	砂川 遼太	3	決勝	30着	35'34"50		
男子	10000m	稲川 温健	2	決勝	17着	33'34"21		PB!!
男子	10000m	遠藤 礼偉	3	決勝	10着	32'08"51		
男子	110mH	赤川 諒	2	予選	2組 2着	14"88	+2.1	
				決勝	5着	14"74	+2.3	5位入賞
男子	110mH	渡邊 薫	M2	予選	1組 2着	14"96	+1.3	
				決勝	6着	14"91	+2.3	6位入賞
男子	110mH	藤岡 哲也	M2	予選	4組 6着	15"60	+1.8	
男子	400mH	藤岡 哲也	M2	予選	4組 1着	54"13		
				決勝	1着	52"16		優勝!!
男子	400mH	熊谷 隼	2	予選	1組	DNS		
男子	3000mSC	曳地 謙人	4	決勝	1組 14着	10'16"43		
男子	3000mSC	長澤 晃太	1	決勝	2組 3着	9'57"31		
男子	3000mSC	木村 優斗	1	決勝	2組 5着	10'14"68		PB!!
男子	走幅跳	桶谷 佳弘	1	決勝		DNS		
男子	走幅跳	定松 駿	4	決勝		DNS		
男子	走幅跳	赤川 諒	2	決勝		DNS		
男子	三段跳	定松 駿	4	決勝	9位	13m62	+1.8	
男子	三段跳	桶谷 佳弘	1	決勝		DNS		
男子	砲丸投	下山 翔平	M2	決勝	3位	12m34		3位入賞
男子	円盤投	下山 翔平	M2	決勝	1位	39m08		優勝&PB!!
男子	円盤投	中山 颯	1	決勝		DNS		
男子	ハンマー投	下山 翔平	M2	決勝	3位	44m76		3位入賞 &PB!!
男子	やり投	上村 誠	1	決勝	11位	48m73		PB!!
男子	4× 100mR	田畑-上井-渡邊-藤岡		予選	2組 3着	42"15		
男子	4× 400mR	藤岡-上井-廣田-佐藤		予選	3組 1着	3'18"94		
		上井-藤岡-廣田-佐藤		決勝	4着	3'14"58		4位入賞
男子	100m	上村 誠	1	OP	9組 6着	11"68	+1.5	

男子	100m	西山 佳吾	3	OP	11組5着	11"63	+1.2	
男子	100m	小島 悠矢	M1	OP	5組	DNS		
男子	100m	服部 拓斗	M1	OP	7組	DNS		
男子	400m	熊谷 隼	2	OP	7組5着	55"98		
男子	400m	上村 誠	1	OP	4組2着	54"63		
男子	400m	小島 悠矢	M1	OP	7組1着	51"61		
男子	400m	服部 拓斗	M1	OP	1組	DNS		
男子	400m	長島 拓海	4	OP	2組3着	53"37		
男子	400m	西山 佳吾	3	OP	6組5着	54"72		PB!!
男子	10000m	長澤 晃太	1	OP	2組	DNF		
男子	10000m	木村 優斗	1	OP	2組	DNF		

種目	氏名	学年	ラウンド	組・着順	記録	風	備考	
女子	100m	南 里菜	4	予選	1組1着	12"22	+1.6	
				準決勝	1組1着	11"98	+1.3	
				決勝	1着	11"90	+1.3	大会新!!
女子	100m	志賀 花菜	3	予選	3組2着	12"67	+1.6	
				準決勝	3組2着	12"58	+2.0	PB!!
				決勝	6着	12"67	+1.3	6位入賞
女子	100m	中澤 依吹	2	予選	2組	DNS		
女子	200m	中澤 依吹	2	予選	3組4着	27"03	+1.5	
女子	200m	野田 菜々香	3	予選	2組	DNS		
女子	200m	南 里菜	4	予選	4組1着	25"62	+1.3	
				決勝	4着	25"35	+1.9	4位入賞
女子	800m	室田 美玲	3	予選	4組3着	2'28"80		
女子	1500m	室田 美玲	3	予選	1組3着	4'55"61		PB!!
				決勝	9着	5'04"89		
女子	5000m	室田 美玲	3	決勝	7着	19'21"56		7位入賞
女子	100mH	志賀 花菜	3	予選	2組2着	14"63	+1.0	PB!!
				決勝	6着	14"60	+2.4	6位入賞
女子	100mH	野田 菜々香	3	予選	1組6着	15"86	+2.6	

女子	100mH	釣本 陽香	1	予選	3 組	DNS		
女子	400mH	野田 菜々香	3	予選	1 組 1 着	1'08"14		
				決勝	3 着	1'05"71		3 位入賞
女子	走幅跳	宮田 稜子	2	決勝	5 位	5m63	+1.3	5 位入賞
女子	走幅跳	釣本 陽香	1	決勝	2 位	5m86	+3.9	2 位入賞
女子	三段跳	宮田 稜子	2	決勝	15 位	10m64	+1.2	
女子	三段跳	釣本 陽香	1	決勝	1 位	12m65	+3.6	優勝!!
女子	三段跳	南 里菜	4	決勝		DNS		
女子	砲丸投	平井 梨恵	2	決勝	6 位	8m75		6 位入賞 & PB!!
女子	円盤投	平井 梨恵	2	決勝	6 位	24m21		6 位入賞
女子	ハンマー投	平井 梨恵	2	決勝	3 位	35m87		3 位入賞
女子	4 × 100mR	釣本-南-宮田-志賀		予選	1 組 2 着	48"43		
		釣本-南-宮田-志賀		決勝	3 着	48"48		3 位入賞
女子	4 × 400mR	宮田-釣本-志賀-南		予選	1 組 2 着	4'00"42		
女子	4 × 400mR	宮田-釣本-志賀-南		決勝	4 着	3'56"51		4 位入賞



南里菜(教育学部 4 年)

100m で大会新記録にて大会 MVP 獲得!!



# 箱根予選会チャレンジ 第 231 回東海大学 長距離競技会



鈴木阜陽(理工学部 3 年)

34'33"15(初)

砂川遼太(理工学部 3 年)

34'46"04(Pacer)

吉澤洋樹(教育学部 3 年)

DNF(Pacer)

稲川温健(理工学部 2 年)

34'39"84(Pacer)

廣田凌(理工学部 2 年)

36'35"30

木村優斗(経営学部 1 年)

35'09"77(初)

長澤晃太(教育学部 1 年)

34'39"86(初)

10月5日に秦野市カルチャーパークにて行われた箱根予選会チャレンジの最初で最後のチャレンジとなる東海大学長距離競技会に中長距離ブロックが出場致しました。

結果としては、新しく34分を切った選手はおりませんでした。対校戦の翌週という厳しいコンディションも相まってか、難しいレースとなった部員が多かったように思えます。

立川の地から遠のいて8年が経とうとしています。復活を誓ったこの1年は近年でもっとも近づいたといっても過言ではないでしょう。

本気でチャレンジしたからこそ、その分だけ沢山のものを得ることができました。箱根予選会に中長部員と一部マネージャーだけで観戦に行った時、国大の幟が無かった悔しさはこの一年が与えてくれたもの。

新ブロック長廣田(理工2)も、前ブロック長砂川(理工3)の意志を継ぎ、立川への帰還を誓いました。必ずや復活を成し遂げてみますのでまだまだ応援のほどよろしく願いいたします。

そして、応援だけでなく、ペーサーとしてこのチャレンジに携わってくださったOBの皆様にも厚く御礼申し上げます。

こちらで現幹部が発行する部報は最後となります。今回も主将の遠藤が活動をご報告させていただきます。

この一年、我々は沢山の新しいことに挑戦してきました。コロナ過が齎した閉塞感を打ち破るようなエネルギーに満ち溢れた青春が私たちの背中を後押ししたのは言うまでもないでしょう。

兎に角、前ばかりを向いて、いつか来る未来に胸躍らせて、ただひたすらに走り抜けたあの日々は振り返ってみれば、とても良い思い出です。この一年を通して、やってよかった、そう思えるときはいつも、全力で向き合ったときだと思えるようになりました。

強い横国は、矢張り強かった、と27大の振り返りの際に述べました。部員が秘める可能性の力に、繋がりと呼んだ追い風に、万感の想いで笠松のグラウンドの中心ではためく部旗を眺めたことを昨日のこのように思い出出すことができます。

対校戦目標の多くを達成することは叶いませんでしたが、その過程で得られた強い横国に至る数々のピースを未来に繋げることができれば、我々は強い横国となることができる。今年はその礎になるような一年であったと、信じています。一人一人が *piece* として共に創り、彩り、環り環ってきた日々を思えば、その系譜に、強い横国が刻まれたことを、主将として非常に誇らしく思いますし、実現に携わってくれた幹部の皆と、部員には感謝の気持ちが絶えません。

そうして紡がれてきた国大の歴史をこれからも大切にそして、国大陸上部に携わる全ての人に力を与えられるような、いつまでも居場所としてあるような、そんな横浜国立大学陸上競技部であるように、と強く思います。

我々の活動を支援してくださる OB,OG の皆様、部員の記録を心のどこかで気にかけてくださる皆様、実際に競技会やグラウンドにいらっしやっして練習や試合に携わってくださる皆様に向けて、この部報は存在しています。改めて、深い感謝の意と共に、最後とさせていただきます。

一年間、ありがとうございました。

